

私のほっとな時間

HOT

きらっとLIKE WORK
KAWACHINAGANO CITY

河内長野で輝いている人に聞きました

VOLUME
8

畜産アンバサダー
大阪府立農芸高等学校2年生
森 早矢香さん



動物たちへの
感謝の気持ちを大切に

ほっと
大切にしているもの
POINT



「もともと動物が大好きで、動物について学べる学校を探していました」と話すのは、府立農芸高校で酪農を専攻している森さんです。普段は学校で産業動物の飼育や飼料、利用方法について学び、実習では牛を担当。乳しぼりや散歩、餌やりに牛舎の掃除をし、2、30頭を飼育しています。「一番感動したのは牛の出産に立ち会えたことです。学生がめったに経験できない貴重な機会。生命のすごさに心が震えました。高校で学ぶ以前の、動物がかわいいという思いだけではなく、命の尊さを感じるようになりました」と語ります。

応募選考を経て学校代表として全国の農業高校生とともに「畜産ティーン育成プロジェクト事業」に参加し、現在畜産アンバサダーとして活動しています。昨年8月にオーストラリア研修

へ行き、畜産先進国の技術を学びました。「動物に対する思いは世界共通。最終日には食育について発表し、人間のために犠牲になっている動物と、飼育している農家さんへの感謝を実感しました。改めて、動物たちに幸せに暮らしてほしいと思います」と話す森さん。帰国後は「いただきます」「ごちそうさまでした」の気持ちを持ってほしいと母校の中学校へ自ら申し出て、出前授業も実施するパワフルな高校生です。

「河内長野には動物園がないけれど、動物と触れ合う機会をぜひ持ってほしいです」と、畜産アンバサダーが終わっても活動を続けていきます。「いろんな農家で話を聞いて吸収し、その話を伝えることが自分の役目。農業系の大学に進んで学びを深めたいです」ときらきらした笑顔で話してくれました。

一番好きな動物は、小さいころからアドベンチャーワールドで何度も見てきたパンダ。パンダの名づけ親をしたり、返還されたパンダを見に中国へ行くなど行動力満点。将来の夢は幼稚園の時から変わらず一番近くで接することができるパンダの飼育員。丸っこくて愛らしいところに魅了された彼女は、「絶対にパンダの飼育員になることを諦めない！」と力強く話してくれました。